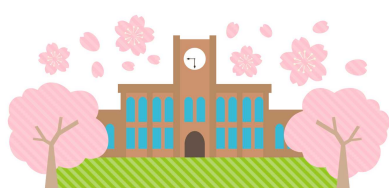


さくら



令和8年4月8日(水)

桜の季節



土佐公園の桜の枝から、鮮やかな緑の葉が出てきました。この後、花はあっという間に散ってしまうことでしょうか。散る花に儚(はかな)さを感じつつも、春は前へ前へと進んでいます。

この季節、学校では進級や進学、社会では入社など、物事が始まる時期です。また、別れと出会いの季節でもあります。これまで一緒だった仲間との別れ、新しい仲間との出会い。環境が変わると、人は大なり小なり不安を感じます。しかし、同時に新しい環境への期待感も膨らむものです。気が置けない人と別れ、新たな人間関係を築いていくことは大変です。しかし、別れと出会いの繰り返しは、人を大きく成長させてくれます。なぜなら、多くの方はより良い人間関係を築くために、考え、努力をするからです。それでは、より良い人間関係を築くには、どのようなことが必要なのでしょう。私は次のように考えます。

『相手の立場に立って物事を考える』

自分はこう思っているから、相手も同じように考えているはずだ。このような考えは間違いです。100人の人がいれば、100人とも顔や性格が違いうように、考え方もさまざまです。だから、相手の立場に立って物事を考えることが必要になってきます。

『親しき仲にも礼儀あり』

いくら親しくても、相手が不快に感じたり、失礼にあたることをしてはいけません。だから、自身の言動に注意を払う必要があります。笑顔や思いやりのある言葉、細やかな心配りはとても大切です。

『人のよい所を見る』

誰にでも長所と短所があります。相手の短所にはばかり目を向けてしまうと、良い人間関係をつくることはできません。信頼し合える人間関係を築くためには、相手の短所を責めるのではなく、長所を認めることが大切です。

これら以外にも、大切なことがあるでしょう。それは、皆さん一人一人がしっかりと考えてください。

さあ、新学期が始まりました。新しい仲間とともに、さまざまなことにチャレンジできる1年間にしていきたいと思います。

学校ホームページで、日々の教育活動のようすを公開しています。どうぞ、本校ホームページを閲覧してください。

